

財務会計 I 臨時休業中課題 No. 2

この課題は全商簿記3級（1年生の簿記）の復習です。わからないところは1年生の時に使っていた問題集・教科書『新簿記』を活用してください。解答は別紙に記入するか、家で用意した紙に記入してください。



【計算問題】

1 次の空欄のなかに、あてはまる金額を計算しなさい。

	期首資産	期首負債	期首純資産	期末資産	期末負債	期末純資産	当期純利益	当期純損失
(1)	180,000	110,000			70,000	90,000		
(2)	300,000		240,000	340,000	120,000			
(3)	420,000			480,000		390,000	70,000	
(4)		150,000	360,000	460,000				50,000

2 次の空欄のなかに、あてはまる金額を計算しなさい。ただし、不要な欄には斜線を引くこと。

	期首純資産	期末			収益総額	費用総額	当期純利益	当期純損失
		資産	負債	純資産				
(1)			460,000	640,000	810,000			100,000
(2)	860,000	1,830,000				780,000	310,000	
(3)	840,000		420,000	910,000	1,500,000			

【仕訳】

3 現金・現金過不足

- (1) 奈良商店から売掛金¥158,000を同店振り出しの小切手で受け取った。
- (2) ①現金の帳簿残高は¥38,000であるが、実際有高は¥36,000であった。
 ②上記不足額¥2,000のうち¥1,200は通信費の記入もれであることがわかった。
 ③決算日になったが、上記不足額¥800は原因が判明しないので雑損とした。
- (3) ①現金の実際有高を調べたところ、帳簿残高より¥6,300多かった。
 ②上記過剰額のうち¥5,700は受取利息の記帳もれであることがわかった。
 ③上記の残りの過剰額¥600については、決算日になってもその原因が不明であるため、雑益勘定に振り替えた。

		借 方	貸 方
(1)			
(2)	①		
	②		
	③		
(3)	①		

	②		
	③		

4 仕入・売上 ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- (1) 静岡商店から商品¥450,000を仕入れ、代金は掛けとした。
- (2) 静岡商店から掛けで仕入れた商品について¥50,000の値引きを受けた。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。
- (3) 愛媛商店から商品¥300,000を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取費用¥4,000は現金で支払った。
- (4) 佐賀商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

A品 150個 @¥1,200 ¥180,000

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		

- (5) 北海道商店に商品¥260,000を売り渡し、代金は掛けとした。
- (6) 上記商品のうち、¥20,000について、規格違いのため返品され、売掛金から差し引くことにした。
- (7) 青森商店に商品¥870,000を売り渡し、代金は掛けとした。なお、発送費¥8,000を現金で支払った。
- (8) 岩手商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取った。

B品 200個 @¥1,400 ¥280,000

	借方	貸方
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		

5 貸付金・借入金、手形貸付金・手形借入金

- (1) 知念商店に、借用証書によって現金¥700,000を貸し付けた。
- (2) 知念商店に、借用証書によって貸し付けていた¥700,000を利息¥20,000とともに同店振り

出しの小切手で返済を受けた。

(3) 岡本商店から借用証書によって現金¥800,000を借り入れた。

(4) 岡本商店から借用証書によって借り入れていた¥800,000を利息¥30,000とともに現金で返済した。

(5) 有岡商店から約束手形を受け取り、¥1,000,000を貸し付け、利息¥100,000を差し引き、残額は現金で支払った。

(6) かねて有岡商店から約束手形を受け取って貸し付けていた¥1,000,000を同店振り出しの小切手で返済を受けた。

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		

6 前払金・前受金

(1) 伊野尾商店に商品¥240,000を注文し、内金として¥40,000を現金で支払った。

(2) 上記の商品¥240,000を仕入れ、代金は内金¥40,000を差し引き、残額は掛けとした。

(3) 高木商店から商品¥480,000の注文を受け、内金として¥80,000を同店振り出しの小切手で受け取った。

(4) 上記の商品¥480,000を売り渡し、代金は内金¥80,000を差し引き、残額は掛けとした。

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		

7 未収金・未払金

(1) 不要となった段ボール箱を売却し、代金¥1,000は月末に受け取ることにした。

(2) 備品¥680,000を買い入れ、代金は月末に支払うことにした。

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		

8 有価証券

(1) 売買目的で尾田工業株式会社の株式 20 株を 1 株につき¥70,000 で買い入れ、代金は買入手数料¥8,000 とともに小切手を振り出して支払った。

(2) 売買目的で鳥山物産株式会社の社債額面¥200,000 を額面¥100 につき¥98 で買い入れ、代金は現金で支払った。

(3) 東村産業株式会社の株式 15 株 (1 株の帳簿価額¥55,000) を 1 株につき¥63,000 で売却し、代金は現金で受け取った。

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		

9 固定資産

(1) 事務用のカラーコピー機¥700,000 を購入し、代金は月末に支払うことにした。

(2) 営業用のトラック¥850,000 を購入し、買入手数料¥30,000 とともに小切手を振り出して支払った。

(3) 帳簿価額¥800,000 の備品を¥590,000 で売却し、代金は現金で受け取った。

(4) 帳簿価額¥4,500,000 の建物を¥4,620,000 で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		

2年生 臨時休業中 ビジネス情報 課題

第2学年 組 番 氏名 _____

次の用語の説明をなさい。（プリントかレポート用紙又はノートに記入してください。）

1	Bluetooth	
2	EOS	
3	HDMI	
4	JAN コード	
5	RAM	
6	RFID	
7	ROM	
8	URL	
9	アンインストール	
10	インストール	
11	インターネットバンキング	
12	ウイルス定義ファイル	
13	コンピュータウイルス	
14	スクロール	
15	スパムメール	
16	ハイパーリンク	
17	ハードコートリーダー	
18	ファイルサーバ	
19	フィッシング詐欺	
20	ブルーレイディスク装置	
21	メールサーバ	
22	リアルタイム処理	
23	ワクチンプログラム	
24	ワンクリック詐欺	
25	主記憶装置	
26	制御装置	
27	生体認証	
28	比較演算子	
29	不正アクセス	
30	有害サイト	

財務会計 I 臨時休業中課題 No. 2

この課題は全商簿記3級（1年生の簿記）の復習です。わからないところは1年生の時に使っていた問題集・教科書『新簿記』を活用してください。解答は別紙に記入するか、家で用意した紙に記入してください。



【計算問題】

1 次の空欄のなかに、あてはまる金額を計算しなさい。

	期首資産	期首負債	期首純資産	期末資産	期末負債	期末純資産	当期純利益	当期純損失
(1)	180,000	110,000	70,000	160,000	70,000	90,000	20,000	
(2)	300,000	60,000	240,000	340,000	120,000	220,000		20,000
(3)	420,000	100,000	320,000	480,000	90,000	390,000	70,000	
(4)	510,000	150,000	360,000	460,000	150,000	310,000		50,000

2 次の空欄のなかに、あてはまる金額を計算しなさい。ただし、不要な欄には斜線を引くこと。

	期首純資産	期末			収益総額	費用総額	当期純利益	当期純損失
		資産	負債	純資産				
(1)	740,000	1,100,000	460,000	640,000	810,000	910,000		100,000
(2)	860,000	1,830,000	660,000	1,170,000	1,090,000	780,000	310,000	
(3)	840,000	1,330,000	420,000	910,000	1,500,000	1,430,000	70,000	

【仕訳】

3 現金・現金過不足

- (1) 奈良商店から売掛金¥158,000を同店振り出しの小切手で受け取った。
 (2) ①現金の帳簿残高は¥38,000であるが、実際有高は¥36,000であった。
 ②上記不足額¥2,000のうち¥1,200は通信費の記入もれであることがわかった。
 ③決算日になったが、上記不足額¥800は原因が判明しないので雑損とした。
 (3) ①現金の実際有高を調べたところ、帳簿残高より¥6,300多かった。
 ②上記過剰額のうち¥5,700は受取利息の記帳もれであることがわかった。
 ③上記の残りの過剰額¥600については、決算日になってもその原因が不明であるため、雑益勘定に振り替えた。

	借 方		貸 方	
(1)	現 金	158,000	売 掛 金	158,000
(2)	① 現金過不足	2,000	現 金	2,000
	② 通 信 費	1,200	現金過不足	1,200
	③ 雑 損	800	現金過不足	800
(3)	① 現 金	6,300	現金過不足	6,300

	②	現金過不足	5,700	受取利息	5,700
	③	現金過不足	600	雑益	600

4 仕入・売上 ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

(1) 静岡商店から商品¥450,000を仕入れ、代金は掛けとした。

(2) 静岡商店から掛けで仕入れた商品について¥50,000の値引きを受けた。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

(3) 愛媛商店から商品¥300,000を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取費用¥4,000は現金で支払った。

(4) 佐賀商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

A品 150個 @¥1,200 ¥180,000

	借方		貸方	
(1)	仕入	450,000	買掛金	450,000
(2)	買掛金	50,000	仕入	50,000
(3)	仕入	304,000	買掛金	300,000
			現金	4,000
(4)	仕入	180,000	当座預金	180,000

(5) 北海道商店に商品¥260,000を売り渡し、代金は掛けとした。

(6) 上記商品のうち、¥20,000について、規格違いのため返品され、売掛金から差し引くことにした。

(7) 青森商店に商品¥870,000を売り渡し、代金は掛けとした。なお、発送費¥8,000を現金で支払った。

(8) 岩手商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取った。

B品 200個 @¥1,400 ¥280,000

	借方		貸方	
(5)	売掛金	260,000	売上	260,000
(6)	売上	20,000	売掛金	20,000
(7)	売掛金	870,000	売上	870,000
			発送費	8,000
(8)	現金	280,000	売上	280,000

5 貸付金・借入金、手形貸付金・手形借入金

(1) 知念商店に、借用証書によって現金¥700,000を貸し付けた。

(2) 知念商店に、借用証書によって貸し付けていた¥700,000を利息¥20,000とともに同店振り

出しの小切手で返済を受けた。

(3) 岡本商店から借用証書によって現金¥800,000を借り入れた。

(4) 岡本商店から借用証書によって借り入れていた¥800,000を利息¥30,000とともに現金で返済した。

(5) 有岡商店から約束手形を受け取り、¥1,000,000を貸し付け、利息¥100,000を差し引き、残額は現金で支払った。

(6) かねて有岡商店から約束手形を受け取って貸し付けていた¥1,000,000を同店振り出しの小切手で返済を受けた。

	借 方		貸 方	
(1)	貸 付 金	700,000	現 金	700,000
(2)	現 金	720,000	貸 付 金	700,000
			受 取 利 息	20,000
(3)	現 金	800,000	借 入 金	800,000
(4)	借 入 金	800,000	現 金	830,000
	支 払 利 息	30,000		
(5)	手 形 貸 付 金	1,000,000	現 金	900,000
			受 取 利 息	100,000
(6)	現 金	1,000,000	手 形 貸 付 金	1,000,000

6 前払金・前受金

(1) 伊野尾商店に商品¥240,000を注文し、内金として¥40,000を現金で支払った。

(2) 上記の商品¥240,000を仕入れ、代金は内金¥40,000を差し引き、残額は掛けとした。

(3) 高木商店から商品¥480,000の注文を受け、内金として¥80,000を同店振り出しの小切手で受け取った。

(4) 上記の商品¥480,000を売り渡し、代金は内金¥80,000を差し引き、残額は掛けとした。

	借 方		貸 方	
(1)	前 払 金	40,000	現 金	40,000
(2)	仕 入	240,000	前 払 金	40,000
			買 掛 金	200,000
(3)	現 金	80,000	前 受 金	80,000
(4)	前 受 金	80,000	売 上	480,000
	売 掛 金	400,000		

7 未収金・未払金

(1) 不要となった段ボール箱を売却し、代金¥1,000は月末に受け取ることにした。

(2) 備品¥680,000を買い入れ、代金は月末に支払うことにした。

	借 方		貸 方	
(1)	未 収 金	1,000	雑 益	1,000
(2)	備 品	680,000	未 払 金	680,000

8 有価証券

(1) 売買目的で尾田工業株式会社の株式 20 株を 1 株につき¥70,000 で買い入れ、代金は買入手数料¥8,000とともに小切手を振り出して支払った。

(2) 売買目的で鳥山物産株式会社の社債額面¥200,000 を額面¥100 につき¥98 で買い入れ、代金は現金で支払った。

(3) 東村産業株式会社の株式 15 株 (1 株の帳簿価額¥55,000) を 1 株につき¥63,000 で売却し、代金は現金で受け取った。

	借 方		貸 方	
(1)	有 価 証 券	1,408,000	当 座 預 金	1,408,000
(2)	有 価 証 券	196,000	現 金	196,000
(3)	現 金	945,000	有 価 証 券	825,000
			有 価 証 券 売 却 益	120,000

9 固定資産

(1) 事務用のカラーコピー機¥700,000を購入し、代金は月末に支払うことにした。

(2) 営業用のトラック¥850,000 を購入し、買入手数料¥30,000 とともに小切手を振り出して支払った。

(3) 帳簿価額¥800,000の備品を¥590,000で売却し、代金は現金で受け取った。

(4) 帳簿価額¥4,500,000の建物を¥4,620,000で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

	借 方		貸 方	
(1)	備 品	700,000	未 払 金	700,000
(2)	車 両 運 搬 具	880,000	当 座 預 金	880,000
(3)	現 金	590,000	備 品	800,000
	固定資産売却損	210,000		
(4)	当 座 預 金	4,620,000	建 物	4,500,000
			固定資産売却益	120,000